

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

| | | | |
|-------------------|------|--------------------------|-------------------------------|
| 平成 2 2 年度 実施事業 | | 事務事業名 東京登別げんきかい交流事業 | |
| 区分 | 番号 | 名称 | |
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | |
| 節 | 2 | 交流によるまちづくりの推進 | |
| 施策 | 1 | 国内における交流の場と機会の拡大 | |
| 小分類 | 1 | 国内の様々な地域との交流の推進 | |
| 主要な施策 | 3 | 札幌圏・首都圏における交流拠点の整備 | |
| 事務事業番号 | 001 | 事務事業コード 62113001 | 事業開始年度 平成 元 年度 事業終了年度 平成 - 年度 |
| 会計種別 | 一般会計 | 予算書上の事務事業名 東京登別げんきかい交流経費 | |
| 部 名 | 総務部 | グループ名 | 政策推進室企画 G |
| 統合前または名称変更前の事業名 | | | |

| | |
|------------------|--|
| 事務事業の目的と成果 | |
| 目的 | (事務事業の実施目的を具体的に記載してください) 東京登別げんきかいと市との相互の情報交換や交流を図るとともに、会の協力による首都圏での情報発信等を通じ、市政の発展に寄与することを目的とする。 |
| 手段 (事業の内容・活動) | (目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください) 東京登別げんきかいは、登別を郷土として首都圏で活躍する方々により構成され運営されており、市は、総会や交流の場において、市の情報を発信し、市政への協力や首都圏での市の各種情報のPRについて、協力いただくとともに、相互の情報交換や親睦、交流を図っている。 【平成 2 2 年度活動内容】 ・夏のイベントの開催 平成 2 2 年 7 月 1 0 日(土) 「ぐんぐん伸びる東京スカイツリーと浅草寺・雷門、上野恩賜公園内・周辺の文化施設を訪ねて」 ・総会・情報交換会・懇親会の開催 平成 2 2 年 1 1 月 1 3 日(土) 総会及び会と登別市の情報交換会 |
| 成果 | (事務事業の実施成果を具体的に記載してください) 総会、情報交換会、夏のイベントなどを通じて、会と市との相互の情報交換を行うことにより、市政に対する意見や提言をもらうとともに、首都圏での市のPRの協力をいただいている。 また、登別をふるさとに持つ会員構成となっており、ふるさと納税や登別ブランド推奨品の購入などの協力が得られている。 |
| 根拠法令等 | (事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください) 東京登別げんきかい会則 |

| | | | | | | | |
|-------|--------------------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 指標の推移 | | | | | | | |
| 区分 | 単位 | 区分 | 22年度実績 | 23年度目標 | 24年度目標 | 25年度目標 | 26年度目標 |
| 成果指標 | 夏のイベント参加者数 | 目標値 | 60 | 60 | 60 | 60 | 60 |
| | | 実績値 | 57 | | | | |
| | 総会・情報交換会参加者数(延べ人数) | 目標値 | 160 | 160 | 160 | 160 | 160 |
| | | 実績値 | 127 | | | | |

事業費の推移

| 区 分 | | | 単位 | 22年度 決算 | 23年度 当初予算 | 24年度 見込 | 25年度 見込 | 26年度 見込 | 24～26 年度 |
|---------------------------------|-------|----|-------|------------|--------------|------------|------------|------------|-------------|
| 事業の 財源内訳 | 国庫支出金 | 名称 | 千円 | | | | | | 0 |
| | 道支出金 | 名称 | 千円 | | | | | | 0 |
| | 地方債 | 名称 | 千円 | | | | | | 0 |
| | その他 | 名称 | 千円 | | | | | | 0 |
| | 一般財源 | 名称 | 千円 | 564 | 585 | 640 | 640 | 640 | 1,920 |
| 合 計 | | | | 564 | 585 | 640 | 640 | 640 | 1,920 |
| (参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費 | | | 職 員 | 千円 | 514 | 528 | | | |
| | | | 嘱 託 員 | 千円 | 0 | 0 | | | |
| | | | 臨時職員 | 千円 | 0 | 0 | | | |
| | | | 合 計 | | 514 | 528 | | | |

担当グループによる事務事業評価の内容

| 1. 事務事業の妥当性について | | | |
|---------------------------------------|---|---|--|
| 今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？ | → | 妥当である 妥当ではない | → 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 本会は首都圏に事務所を持たない本市にとって、情報発信源として重要な役割を担っていることから、当該事業を実施することは妥当と考える。 |
| 2. 事務事業の成果について | | | |
| 成果はあがっていますか？ | → | 成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない | → 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 継続的かつ活発的に情報交換等の活動が行われている。 また、登別をふるさとに持つ会員構成となっており、ふるさと納税などの協力が得られている。 |
| 3. 事務事業の成果向上について | | | |
| 成果を向上させることはできますか？ | → | 大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない | → どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 情報交換会等で市の情報を提供し、市政への協力や首都圏での市のPRの協力をいただいております。今後も、総会、懇親会等を通じて会員相互の親睦、交流を図ることにより、未永く登別を想い続けていただき、ふるさとである登別の発展に寄与していただくことが可能と考える。 |
| 4. 事務事業の経済性・効率性について | | | |
| 成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？ | → | 削減できる 削減できない | → どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 現在の経費は情報交換等に必要な旅費と会場借上料のみであり、また、人件費についても最低限の人工で実施しているため、削減は難しいと考える。 |

担当グループによる評価

| | | |
|-----|----------------------|--|
| 維 持 | 左記の評価を選択した具体的な理由（根拠） | 登別のふるさと会である東京登別げんきかいは、登別市と首都圏をつなぐパイプ役として登別市の発展のため活動を行っている。本会が実施している活動は、本市にとって大きな財産であり、今後も本事業を継続すべきものと考えらる。 |
|-----|----------------------|--|

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

| | |
|-----|----|
| 維 持 | 備考 |
|-----|----|

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）